



掛川の文化財を大切に 先史からの学びを



家康人気で戦国時代が脚光を浴びています。掛川古城や高天神城も歩きましたが、連休中に吉岡大塚古墳をはじめ、市内8ヶ所の古墳まわりをしました。

河岸段丘の上にある古墳群は1500年以上前の私たちの祖先たちの世界観や文化を感じることのできる貴重な財産だと思います。



ヒルザキ
ツキミソウ

現在市議会の次期構成が組まれようとしています。最大会派の創世会（10名）を中心に要職はほぼ自民党で占められます。おのずと自民党政治掛川版の議会になります。これでは多様な市民の声を反映できる議会運営は難しいと思います。

平和憲法を変えて日本を戦争ができる国に作り替え 大軍拡で戦争準備を進めようとしている岸田政権

世界の150年間をふりかえると、軍拡をして戦争に至った割合は82%なのに対し、軍拡をせずに戦争に至らなかった割合は96%だそうです。（多賀秀敏 早稲田大名誉教授 統計）

今日日本中、特に沖縄をはじめとする東シナ海が要塞化され他国に銃口を向けようとしています。武力衝突が起これば真っ先に報復を受けます。

戦争の準備は戦争を呼び込む。外交努力による戦争回避こそ重要です。

5/3の憲法記念日、掛川市民アクション主催の憲法フェスタに参加しました。台湾有事の武力解決を望まない国民は56%と過半数を超え、多くが平和外交での解決を望んでいます。輸出も輸入も第一位の相手国は中国です。軍事増税NOが80%。（共同通信調査）

日本を戦争に巻き込む岸田政権の大軍拡には反対です。



東京都杉並区 投票率が4%上がって起きた変化

昨年、市民派の岸本聡子区長を誕生させた杉並区。しかし、区長が提案していた給食費の無償化などは過半数を占める自公会派によって足踏みしていました。

「区長は変わった。次は議会」を合い言葉に、区長に賛同する候補の合同街頭宣伝や、投票に行こうと呼びかける運動（区長も連日街頭に立ち呼びかけ実施）を展開。4年前と比べ杉並区議会選挙は4.19%投票率がアップしました。増えた約2万票によって、自民党が大量落選、女性が半数を占め、新旧交代、市民派の区長を支える議会構成が実現しました。

選挙で政治は変えられる。投票率の低下が止められない日本は民主主義の危機だと思います。

掛川の自民党支部の役員は全て市議会議員です。地区推薦なんていう無所属の顔をせず、自民党公認として選挙に出るべきです。この2年間、議長・副議長・議長長・常任委員会委員長と自民党が独占しました。

	改選前	改選後
自民	16(2)	9(2)
公明	7(1)	6(2)
立民	3(0)	6(4)
共産	6(3)	6(4)
その他・無所属	15(9)	21(12)
欠員		

()内は女性